

2025
12

December
No. 394

広報

みしま



つないだ!希望のタスキ

11月16日、第37回ふくしま駅伝に三島町の2名の選手が7町村の連合チームである「希望ふくしま」の一員として出場し、郷土の誇りを胸にタスキを繋ぎました。

写真：鈴木康生選手（会津高1年・宮下）から4区馬場健人選手（会津学鳳高1年・金山町）へのタスキ渡し。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

防災行政無線戸別受信機 必ず電源を入れておくようお願いします。



▲ 全戸に設置している防災行政無線戸別受信機

防災行政無線は、各地区の屋外拡声機と、各戸に設置している戸別受信機により放送しています。日頃の各種お知らせ放送のほか、火災、地震、大雨など緊急時の放送を受信するため、必ず電源を入れておくよう、あらためてお願いいたします。

現在設置している戸別受信機は、令和元年度から令和2年度にかけて更新したもので、原則として全戸に無償で設置するものです。もし「見当たらない」「設置していない」という方がいらっしゃいましたら、設置しますので役場総務課にご連絡ください。

使い方			
1 黒いケーブルを接続し、コンセントにつなぐ			
2 乾電池（単一2本）を本体にセットする			
3 電源を入れ、音量を調節する。			
4 音が聞こえにくい時は、アンテナを伸ばしたり、受信しやすくする。	設置場所を変えて、電波		

テレビ電話（IP告知放送設備） は廃止する予定です。

令和8年3月まで



まのご理解とご協力をお願いいたします。

近隣町村を含め全国の多くの自治体を見ると、LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーク）・キング・サービス）による個人スマートフォン等への情報配信が行われており、当町でも今後の実施について検討しています。

大災害に備えた備蓄品

▲ アルファ米



▲ ヒートレスカレー・シチュー



▲ 保存水



これまでの各地の災害においては、長時間の停電や断水に加え、物流が停滞し、食料品が手に入らなくなる状況が発生しており、最低でも3日分程度の食料品の備蓄が望ましいとされています。

現在、町が備蓄している食料品は、下記表のとおりです。備蓄量については、全人口の20%が避難したと想定し、その3日分を目標数として、毎年度購入及び配布等を行って調整していくこととしています。

今年度末で保存期限が来るアルファ米や保存水を、ご希望の方に配布する予定で、準備ができましたらお知らせ版等でご案内いたします。

また、今年度から、両沼地方町村会と民間の宅配業者で災害時備蓄物資の管理に関する協定を締結しています。

これは、両沼7町村が共同で備蓄物資を所有し、宅配業者に保管・在庫管理及び災害発生時の輸送を委託するものです。

● 本町の食料品の備蓄数量（令和7年度末見込み）

	宮下	滝谷	大谷	浅岐	間方	大石田	早戸	合計
アルファ米	2,150 食	200 食	150 食	100 食	100 食	200 食	100 食	3,000 食
保存水	1,176 食	156 食	96 食	48 食	84 食	168 食	60 食	1,788 食
カレー	1,590 食	570 食	360 食	180 食	300 食	600 食	150 食	3,750 食
シチュー	1,620 食	570 食	330 食	180 食	300 食	600 食	150 食	3,750 食

※備蓄品は宮下地区と道路寸断等による孤立可能性が高いとされる6地区に配置しています。

※アルファ米は 50 食 / 箱、保存水は 12ℓ (500ml 24本または 2ℓ 6本) / 箱
カレー・シチューは 30 食 / 箱単位で倉庫に保管されています。

ご家庭での備蓄も大切です。普段の買い物の範囲で、飲料水やレトルト食品、缶詰などを少し買い置きするだけでも備えとなります。災害が発生してしまうと、日常生活を送ることが困難になります。

自分たちの健康と暮らしを守るために日常的な行動を見直し、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

食料備蓄については、**ローリングストック**を心がけましょう。

※ ローリングストックとは、「蓄える」→「食べる」→「補充する」ことを繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄する方法のことです。



▲ 文化祭で防災備蓄食品（米、カレー）の試食会を実施しました。

家庭での備蓄例（3日分、大人2名の場合）	
飲料水及び調理用水	2ℓ×9本（1人1日3ℓ）
カセットコンロ、カセットボンベ	6本
パックご飯	10個、乾麺（うどん・パスタ等）600g
レトルトカレー等	10個、缶詰（魚・肉）6個
日持ちする野菜類	（じゃがいも、たまねぎ等）
調味料、インスタントみそ汁・スープ類、菓子類	

ご家庭でも備えを

三島小まつり



▲ 三島小各学年児童による発表



△ 豊年踊りを踊る来場者一同

11月1日、三島小まつりが開催されました。1年生による開会の言葉で始まり、各学年の発表や学習成果の展示を、訪れた多くの方々にご覧いただきました。最後は、豊年踊りを踊り、会場が一体となり盛り上がりました。今年も、児童たちの日々の学習の成果が随所に感じられ、その成長には目を見張るものがありました。

文化のまつりで盛り上がった1日

三島町文化祭

11月1日、三島町文化祭が開催されました。前半は中学生の合唱や総合学習の発表、子どもたちのピアノ演奏が行われました。さらに今年はスバリゾートハワイアンズのフラガールをゲストに迎え、フラの振付を教わりながら、来場者全員でフラダンスを楽しみました。後半は、箏の演奏、語り部ちゃんちゃんこによる昔語り、そして昨年に引き続き一玄亭米多朗さんによる落語が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



▲ 一玄亭米多朗さんによる落語



▲ 振付を教わりながら皆で踊るフラダンス

ふるさとの誇りを胸に力強い走りで襷をつなぐ 第37回ふくしま駅伝

第37回ふくしま駅伝は11月16日、白河市から福島市までの16区間、96・3kmのコースで繰り広げられ、三島町は、7町村（三島、金山、昭和、湯川、檜枝岐、川内、葛尾）の連合チームである「希望ふくしま」として参加しました。13回目の出場となる「希望ふくしま」は、20位台の成績を目標に参加選手一同、力の限りを尽くし、昨年を上回る29位（5時間49分3秒）でゴールしました。



▲ 第3中継所 矢吹町役場 鈴木康生選手(三島町)から馬場健人選手(金山町)へ



▲ 第5中継所 須賀川市役所 北館亮選手(三島町)から三瓶友也選手(川内村)へ

町からは、2名の選手が出場し、3区の鈴木康生選手（会津高一）は、3年目の出場となり、安定した走りを見せました。5区の監督兼選手の北館亮選手（三島町役場）は、初めて走る区間ではありましたが、次に襷をつなぐため、懸命に走り抜けました。また、今回は鈴木優介選手（三島町役場）が、5区のサポートメンバーとして、選手をサポートしました。選手の間には学業や仕事以外の時間を割いて、個人練習だけでなく、合同練習や合宿も行っていました。その結果「希望ふくしま」の目的である、古里の誇りを胸に力強い走りで襷をつなぎ、町民に元気、勇気、感動を与えてくれました。



▲ 20位台の目標を達成し喜び合った選手
の皆さん

結果 総合 29位 記録 5時間49分3秒

区間	距離	選手名	町村名	学校・職業	区間記録	区間順位
1区	4.0km	木戸 美帆	葛尾村	石川町社協	15分37秒	36
2区	8.2km	本名 莉	昭和村	山梨学院大4年	24分43秒	8
3区	5.8km	鈴木 康生	三島町	会津高1年	19分24秒	26
4区	7.3km	馬場 健人	金山町	会津学鳳高1年	24分46秒	25
5区	6.4km	北館 亮	三島町	三島町役場	22分58秒	33
6区	8.3km	三瓶 友也	川内村	福島医療専門1年	28分12秒	22
7区	5.4km	高畑 空	湯川村	湯川中3年	19分56秒	39
8区	4.1km	目黒 結詩	金山町	金山中1年	17分17秒	46

区間	距離	選手名	町村名	学校・職業	区間記録	区間順位
9区	3.0km	星 祐花	檜枝岐村	檜枝岐中2年	12分59秒	30
10区	10.6km	遠藤 大翔	川内村	福島大4年	36分39秒	35
11区	3.9km	五十嵐 玲奈	金山町	金山中3年	19分55秒	49
12区	7.0km	鈴木 貴人	湯川村	ふたば未来学園高	25分52秒	34
13区	4.8km	中丸 凌太	金山町	特養老かねやまホーム	17分46秒	30
14区	5.7km	津村 優斗	湯川村	湯川中3年	21分44秒	36
15区	3.4km	小野 真凛	湯川村	湯川中2年	14分36秒	37
16区	8.4km	五ノ井 浩	金山町	日本電気	26分39秒	9

第19回 アジアデザイン文化学会[ADCS] 国際研究発表大会 in 三島町



◀ 研究発表会開会式の様子



◀ 集合写真

11月21・22日に、名誉町民の宮崎清先生が総会長を務めるアジアデザイン文化学会（ADCS）の総会並びに研究発表大会が、交流センター山びこ、生活工芸館、工人の館の3施設で開催されました。

これは、今まで大学という研究機関だけで行われていた本学会発表大会を、より生活に根付いた現場に寄り添う開催にしたいという想いからでした。

日本と台湾の研究者およそ60名の方が来町し、研究の成果を発表しました。

本町は、会場提供に加え、本学会における各種事務業務を支援し、大会の円滑な開催に協力いたしました。

本研究会の実施を通し、日頃の研究成果を発表されただけでなく、三島町のものづくり文化や景観の美しさ、郷土の魅力を、日本や台湾の多くの研究者の皆様を知っていただく機会となり、実りある大会となりました。



◀ 今回の研究発表会への協力により、表彰を受けました。



▼ 道の駅（みしま宿）での集合写真

二日目、町内に宿泊された参加者は、生活工芸館、工人の館、交流センター山びこを巡り、三島町のものづくりの歴史を学び、その味わい深い作品に感動し、多くの方々が作品を購入されていました。

また、道の駅、ビューポイントを観光し、台湾でも知られた有名な景観を鑑賞すると共に、町の特産品をお土産に購入されていました。

ゴミ特集 vol.6

燃えるごみ減量の状況について

減量 28t 達成!

三島町の燃えるごみ搬入量は昨年の同時期と比較して 28t 減量となり、目標に向けて着実に進んでいます。これは町民の皆様一人ひとりの取組の結果です。

ただ、まだ減量への取り組みが必要な状況ですので、これからも燃えるごみ減量に向けた情報を発信していきます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

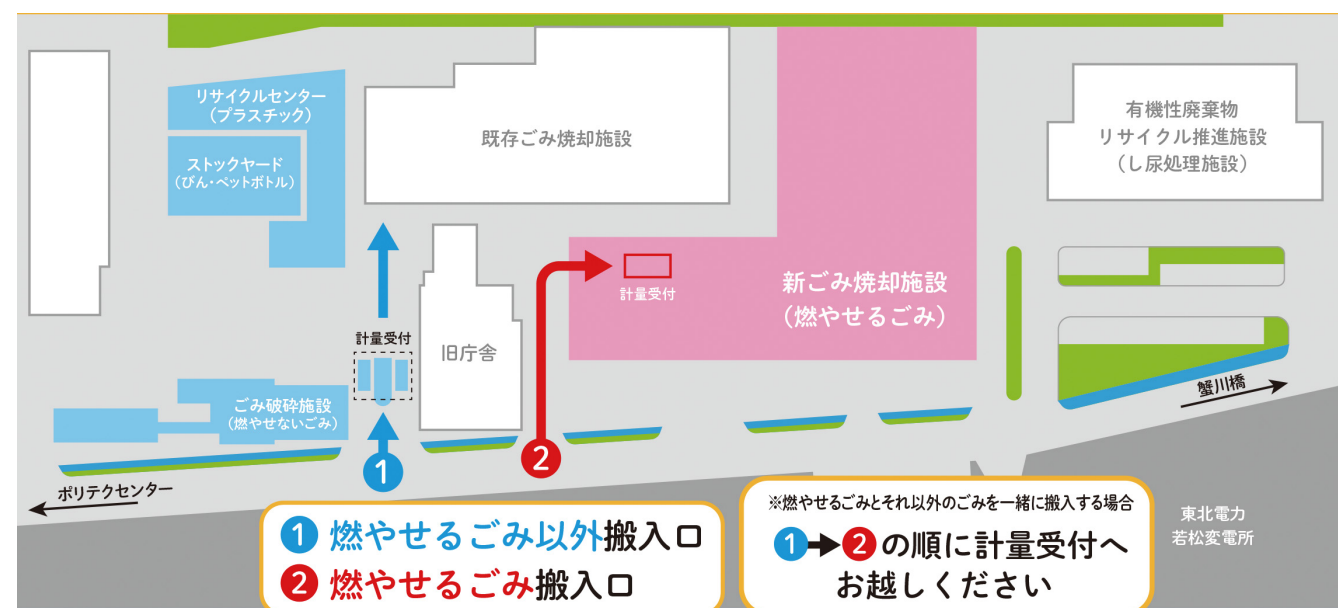
燃えるごみ搬入量

単位：t

令和 6 年度	令和 7 年度	増減	前年比 (%)
225.26	196.99	△ 28.27	87.45

（令和 7 年 10 月までの家庭系ごみと事業系ごみ合計を昨年同時期と比較）

会津若松市のごみ施設への搬入ルートが変わりました



場所：福島県会津若松市神指町大字南四合深川西 292-2

新しい焼却施設の試運転が始まり、燃やせるごみの搬入口が変わりました。燃やせるごみ以外は今までと同じで、それぞれの受付で計量が必要になります。

役場で直接搬入手続きをして環境センターへ直接持ち込む場合は、はじめに燃やせるごみ以外の搬入口（今までと同じ計量受付）へ向かうようお願いいたします。

未来の先生による授業

福島大学学生の教育実習



▲生活工芸館でのストラップづくり



▲中学校2年生「国語」の授業実習



▲小学校5・6年生「音楽」の授業実習



▲小学校1年生「算数」の授業実習

11月9・10日、福島大学の2年生33名が、教育実習の事前学習のために1泊2日で研修を行いました。

9日、三島町に到着した学生たちは、地域の学習ということで、生活工芸館でストラップづくりを体験した後、翌日の授業に備え、準備をしました。

翌10日はいよいよはじめて授業を行う日となりました。小学校へ26名、中学校へ7名の学生が緊張した面持ちで向かいました。

始めに、児童たちとの顔合わせ交流会を行い、ゲームなどをとおして仲良くなってから授業開始です。

事前に三島小中学校の先生方と授業や内容について十分に打合せを重ねた成果もあり、初めての授業でも学生たちは堂々と自信を持って授業に取り組んでいました。

子どもたちにとっても、学生たちが一生懸命に授業に取り組む姿勢は、新鮮で思い出に残る体験となりました。

第15回

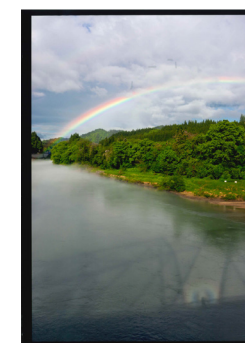
『撮』っておきのみしま町 フォトコンテスト

今年で第15回を迎えた上記フォトコンテストの審査会が11月18日に開催され、応募作品57点(25名)のうち9点が入賞されました。応募作品は全点、交流センター山びこで令和7年12月6日から令和8年2月15日の間展示いたします(月曜、年末年始休み)。

問 交流センター山びこ ☎ (52) 2165



三島町長賞 美坂高原の星空 おおしま いちろう 大島 市郎(会津若松市)



三島町文化協会長賞 奇跡の出会い たがみ としあき 田上 敏明(三島町)



福島民友新聞社賞 「さでがけ」おわたぞ〜 さくま ゆうこ 佐久間 優子(三島町)



ミサカノヨヅラ賞 静かな高原の銀河 さやま こう 佐山 幸(会津若松市)



福島民報社賞 我が家の荷パン(屋号) ふるうち まさる 古内 勝(南相馬市)



交流センター山びこ賞 運転再開 一番列車 おの たかお 小野 孝雄(伊達市)



三島町教育委員会教育長賞 もう撮れない 影の芸術 幻の三島タワー めざき よしかづ 目崎 良和(神奈川県)



三島町写真クラブ『写団・道奥21』会長賞 はじめてのスイカわり にへい ともち 二瓶 朋子(三島町)



交流センター山びこ賞 おとぎの国 まなべ やすお 真部 保夫(喜多方市)

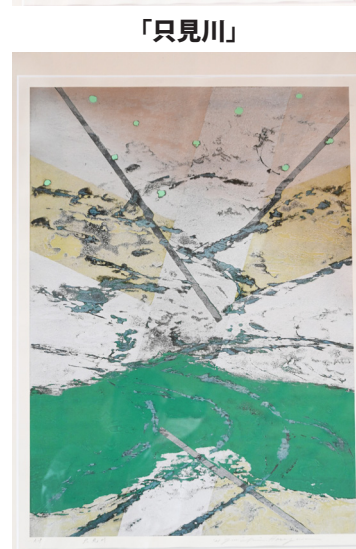
故・長谷川雄一氏の木版画4点が町に寄贈、来春にも追悼展を予定



◀ 町長室での寄贈式の様子



◀ 今回寄贈を受けた4点のうちの2点



会津若松市出身の長谷川雄一氏は、1970年代に斎藤清氏に影響を受けて版画をはじめ、80年代に作家活動を開始、多色刷りの木版画は国内だけでなく海外でも高く評価され、その作品は国内外の美術館で収蔵されています。

長谷川氏は工房を三島町の旧松原分校に構え、交流センター山びこでは、展示会を何度も開催しました。

本年8月2日、長谷川氏が急逝、その遺作ともいえる作品を含む4点が長谷川氏の妻・千代子様、娘・真帆様の申し出によって町に寄贈されることとなり、10月30日にその寄贈式が町長室で行われました。

矢澤町長が「町の宝として受け継ぐ」とした今回寄贈された4点のほか、町が以前から所蔵する長谷川氏の作品すべてを展示する追悼展を、交流センター山びこにおいて来春開催予定です。

第20回会津西部総合演芸大会

11月23日、交流センター山びこにて「第20回会津西部総合演芸大会」が開催され、ピアノ独奏、コーラス、カラオケ、昔語りが披露されました。

三島町からは「語り部ちゃんちゃんこ」の小松けい子さん（西方）と佐久間絹江さん（滝原）が出演し、昔語りを披露しました。今年は3町村から4団体が出演し、前回の演芸大会より少なかったものの、多くのお客様がお越しになり、それぞれの発表が終わると大きな拍手が上がりました。



▲ 語り部ちゃんちゃんこのお二人による昔語り



▲ 多くの人が観覧に訪れた演芸大会の会場の様子

大盛況！おおたに新そばまつりの開催

11月9日、大谷地区において、毎回大盛況の「おおたに新そばまつり」が開催されました。

今回も関東ナンバーなど、県外から多くのお客様がお越しになり、第一会場の大谷活性化センターは満席で、玄関や外にも順番待ちの方があふれるほどの盛況ぶりでした。訪れた皆様は、会津地鶏けんちん・高遠・ざるの3種の手打ち蕎麦のほか、蕎麦口上や農産物等の販売も楽しまれました。

また、第二会場の圓福寺では、加藤豊弼^{ほうじふ}先生の無料揮毫会が行われ、こちらも書を求めるお客様で賑わっていました。



▲ 五十嵐富一^{よしいち}「おおたに新そばまつり実行委員会」会長によるそば口上



▲ 新そばを楽しむ第一会場（大谷活性化センター）の様子



▲ 加藤豊弼^{ほうじふ}先生の書を求める第二会場（圓福寺）

故・小馬崎達也^{こうまざき}氏の三島町産桐スピーカー寄贈される！

1990年代から活動を開始した小馬崎達也氏は、ギターを弾き、久乗編鐘^{きゅうりょうへんしょう}を奏でるミュージシャンとして、日本だけでなく海外でも公演を行うなど精力的に活動されてきました。

三島町との関わりは、平成9年に町でコンサートを開いたことがはじまりです。その数年後、小馬崎氏は三島町の桐を使用したギターや町と共同で会津桐を



▲ 寄贈を受けた桐スピーカー

使ったスピーカーの製作を始め、演奏会等で用いられました。

小馬崎氏は令和2年にお亡くなりになり、遺された桐のスピーカー2点が10月28日、小馬崎氏の妹・小馬崎久代様の申し出で町に寄贈されました。

今後、町では交流センター山びこ・イベントホールの音響に活用していきたいと考えています。



▲ 小馬崎久代様と、小馬崎達也氏のご友人の皆さん

【間方】「志津倉山麓トレッキング」行われる（11月2日）

菅家 寿一さん

11月2日、かしや猫クラブ主催による、第3回「志津倉山麓トレッキング」が行われました。遠くは東京等、町内外の大人22名、子供2名、スタッフ9名が参加、天候にも恵まれ、紅葉真っただ中のトレッキングとなりました。

役場前をバスで出発し、志津倉山登山口において、開会セレモニーを行った後、スタートです。かしや猫クラブのメンバーにより、巨木のサワグルミ、トチ、ブナ、ハリギリ等の説明をしながら、ゆっくりと歩きました。ブナ平ではコーヒータ임。ユックリと休憩しました。

巨木・巨岩からのパワーと森林からの癒しをいただき、大辺山の秋を満喫し、日頃の生活をリフレッシュしていただきました。

昼は登山口において、キノコ鍋、かしや猫伝説の紙芝居で楽しんでいただきました。

かしや猫ロードが、倒木で使用できないことから、今夏は、旧道とブナ林の中をトレッキングコースとしました。

今年は全国的に、クマが市街地にも出没し、人身被害が多発していることから、山の中においても、その対策を十分に行之い実施しました。



【間方】「美女峠トレッキング」行われる（11月9日）

菅家 寿一さん

11月9日、かしや猫クラブ主催による美女峠トレッキングが行われました。東京等を含め、町内外の参加者14名とスタッフ8名が参加しました。

天気が心配される中でしたが、紅葉は真っ盛り。駅前をバスで出発し、登り口にて準備運動、安全祈願を行いつスタートです。落葉の上をカサカサと音を立てて歩き、餅ヶ沢附近では、歩く県道の道普請で整備されたベンチで一休み。おしゃべりしながらゆっくり歩きました。

この辺りは数年前に、カシナガが通り過ぎた場所です。枯れたナラの木にはナメコ、ムキタケが出ていました。一見、キノコ採りツアーかと思わせるような場面もあり、楽しいトレッキングとなりました。

一時間程歩いた牧場跡付近で、雨がパラついてきたので戻ることになりました。

集会所で昼食です。「とうげのちゃや」のコーヒーとお菓子が振る舞われるとともに、高姫伝説の紙芝居を上演しました。閉会式を行い、バスに乗車。駅前で解散です。

2月22日には、かんじきを履いて雪山を散策するトレッキングを予定しています。



【早戸】早戸の虫供養（11月10日）

橋本 光五郎さん

早戸地区の伝統行事である虫供養が、11月10日13時30分から開催されました。あいにく雨模様でしたが、今年も三島小学校の3年生・4年生16名が伝統行事の体験教育として参加してくれました。区長から虫供養についての説明を聞いたのち、鉦を撞く区長を先頭にして早戸生活改善センターから虫供養の碑までを掛け声をかけながら歩きました。

虫供養碑のところでは地区の住民と一緒に一人一人線香を手向けて供養した後、供物の団子いただき、お土産のお菓子をそれぞれ受け取り散会となりました。



ご寄附ありがとうございます

株式会社 岐阜武から町へ寄附金



▲町長に目録を手渡す館野氏

ことは大変心強い。いただいた寄附は、町が進める『交流人口から関係人口・定住人口につながる流れづくり事業』に役立てます。」と感謝を述べ、また、館野氏と楠戸氏は「美しい景観を未来に残す取組みに企業として協力したい」と話しました。

町では、寄附を活用し、星空や美坂高原、只見川流域の自然を生かした体験型観光や情報発信を進める方針で、魅力を知る人の裾野を広げ、将来的な関係人口や定住につながる効果を期待しています。

※ INSPiRE は「旅と写真」をテーマに、全国の自然景観をモチーフとした衣服を制作するブランドで、撮影地の美しい自然を未来に残すことを目的に、販売収益の一部を地域に寄附する「ネイチャープロジェクト」を展開しています。三島町は撮影地の一つとして採用され、只見川第一橋梁、美坂高原、町内の星空をデザインに取り入れたアイテムが制作されています。

令和7年度教育・文化関係表彰 受賞について

11月26日、町長室において、令和7年度教育・文化関係表彰の受賞を矢澤町長に報告されました。

教育・文化関係表彰は福島県教育委員会からの表彰で、元教育委員の阿部和彦氏は多年にわたる優れた功績を認められ、地方教育行政功労者として表彰されました。また、三島中学校は、長年にわたる僻地教育における実践と成果が高く評価され、僻地教育功績顕著な団体として表彰を受けました。表彰式は11月14日、福島市の杉妻会館において執り行われ、両受賞者が会場にて表彰されました。

報告会では、阿部和彦氏から「東日本大震災やコロナ禍、その他さまざまな問題を、皆さんの協力により乗り越え、任期を満了できたことに感謝したい。これからも教育行政の発展を支えていきたい。」とのお言葉をいただきました。

また、三島中学校の酒井康雄校長からは「これまでの取り組みに対する表彰であり、個に応じた少人数教育や継続的な実践が成果につながった。子どもたちの想いを今後も発信するとともに、来年度は海外との交流にも取り組みたい。」とのご報告がありました。

矢澤町長からは「長年の歩みの積み重ねが大きな成果となり、今回の表彰につながったと感じている。今後ともご指導をお願いしたい。」と祝意が述べられました。

教育委員会では、引き続き、「ふるさとと自分に誇りが持てる人づくり」を目指し、一層取り組んでまいります。



▲表彰を受ける阿部和彦氏（中央左）と酒井康雄三島中学校校長（中央右）

ヒートショックにご注意を！

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

暑かった夏から急に寒くなったこの時期、お風呂場や脱衣所、トイレの気温は低くなっていませんか？冬はヒートショックが起きやすい時期です。高齢者や持病のある方、熱いお風呂や長風呂が好きな方は注意が必要です。

ヒートショックとは？

暖房の効いた部屋から、廊下やトイレ、浴室などの寒い場所に移動すると、急な寒さで血管が急激に収縮し、血圧が大きく変動します。この変動により、めまいや失神、脳卒中や心筋梗塞などが引き起こされることをヒートショックといいます。

ヒートショックを予防するには？

- ① 脱衣所や浴室を温めましょう
入浴前に脱衣所や浴室を温めておきましょう。暖房器具がなくても湯船の蓋を開けておく、暖かいシャワーを浴室内で流すだけでも効果があります。
- ② お湯の温度は 41℃以下にしましょう
熱いお湯につかると収縮した血管が急激に拡張し、血圧が急低下します。40～41℃のぬるめのお湯につかりましょう。お湯につかる目安は 10 分程度です。
- ③ 食後や飲酒後、服薬後すぐの入浴は避けましょう
食後や飲酒後、服薬後すぐの入浴は血圧が低下しすぎる恐れがあります。1 時間程度休んでから入浴しましょう。
- ④ 浴槽への出入りはゆっくり行いましょう
血圧の急激な変化により、脳の血流が不足している場合があります。ゆっくりと浴槽の出入りを行うことで脳の血流不足を防ぎましょう。



地域おこし協力隊 活動誌

三島のイノシシ最新情報

鈴木 亮

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。

11月はクマの出没がとても多い月でした。この原稿を書いている時点（11月20日）では目撃情報は少なくなってきましたが、柿の木の枝折りのような目立つ痕跡が減っただけで、人里近くへの出没は相変わらず続いているようです。今年の天候次第では12月下旬ころまでクマの出没が続くという話もありますので、継続した注意をお願いします。

さて、世間ではクマの話題が大きく取りざたされていますが、他の大型動物も人里に近づいています。今回はイノシシの近況についてお話ししたいと思います。

「クマもイノシシもエサ不足」

クマはあまり地面を掘らず、イノシシは木に登れないという違いはありますが、クマとイノシシには共通したエサが多くあります（落ちた栗やドングリなど）。それ

らのエサ不足からクマの大量出没に繋がっている訳ですが、イノシシの行動にも変化を与えているようです。私が驚いたのは、今まで決して近づかなかったクマ捕獲用のわなにイノシシが近づき、撒きエサを食べていったということです。ほかにも昼間から道路脇で地面を掘り返すイノシシを見かけたこともあり（しかも私が近づいても花火を打ち上げて逃げない！）イノシシの人慣れや行動範囲の拡大を実感しました。



すずき りょう さん
鈴木 亮 さん

▼ エサ欲しさに我が子を跳ね飛ばしながら進む母イノシシ。
エサ不足で気が立っているのか？



図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

※図書の返却は、返却ボックスに入れていただくだけで結構です。返却時に端末の操作は不要ですので、そのままボックスにお入れください。
ご協力をお願いします。

●今月のおすすめ

さんにんだけのないしょのはなし

スーजी 作

お年寄りのための家で暮らす、幼なじみの3人が、子どものころの懐かしい景色の中で、けんげつみや追いかけっこをして過ごします。おじいちゃんやばあちゃんにも、子どもの頃があったんだと、子どもたちに感じてもらえる絵本です。



●図書の紹介 問 公民館 ☎ (48) 5599



8番出口

川村 元氣 著



すごい習慣大百科

堀田 秀吾 編



国環研だより 第88回

NIES 福島拠点 秋のイベントレポート

三島町のみなさま、こんにちは。今年も秋のイベントシーズンがやってきました。国環研福島拠点でも、地域みなさまに研究所の取り組みをより身近に感じていただくため、さまざまなイベントに参加しましたので、今回はその中から3つのイベントを中心にご紹介します。

■ NIES 一般公開 2025

国立環境研究所のつくば本部では、研究所内を公開する一般公開イベントを毎年開催しています。今年は10月25日④に行われ、2000名を超えるみなさまに来所いただきました。本イベントでは、生態系から気候変動まで環境に関する幅広い研究内容を紹介しており、福島拠点からは福島県の地形を立体模型にしたプロジェクションマッピング「3D ふくしま」と、所内で制作した脱炭素に関する漫画を展示しました。来場者のみなさまには普段なかなか知る機会のない福島県の話題ということで、熱心に耳を傾けていただきました。

■ 三島町文化祭

11月1日④に開催された三島町文化祭への参加は、今年で3回目となりました。地域政策課さんと同じブースで、福島拠点の研究内容を紹介するとともに、子どもたちに楽しんでもらえる脱炭素ゲームなどの体験コーナーを設けました。「3D ふくしま」には多くの町民の方がお越しくださり、今年新たに追加した「令和7年10月時点のツキノワグマ目撃情報マップ」を紹介し、皆さんからは町内での獣害や身近な自然環境のお話を伺い、私たちも大変勉強になりました。子どもたちは地域政策課のモクトンボや福島拠点の脱炭素ゲームで大いに盛り上がり、町民の皆さまと交流が深まる1日となりました。

■ 環境創造センター 10周年イベント～ふくしまミライフェス～

私たちが入居している福島県環境創造センターの開所10周年を記念し、11月15日⑤と16日⑥の2日間にわたり特別イベントが開催され、両日とも1500人を超える来館者となりました。福島拠点は「3D ふくしま」と脱炭素ゲームを展示しました。

最近毎日のように話題となっているツキノワグマ目撃情報マップへの関心がやはり高く、県内各地から来られた方々がそれぞれの地域での状況を話してくださいました。脱炭素ゲームは小学校低学年から中高生まで幅広い年代の子どもたちに遊んでいただきましたが、小さなお子さんには少し難しい内容だったようで、今後の改善のヒントにもなりました。



▲ 環境創造センター 10周年イベントの様子。脱炭素ゲームのプレイ画面を大画面で上映しました。

このほかにも、今秋は郡山市のビッグパレットで開催された「第14回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（リーフふくしま2025）」や同じく郡山市のカルチャーパーク内で行われた持続可能な未来に向けた地域活動を紹介する「みんなの市民活動交流フェスタ」など、さまざまなイベントにも参加し、研究内容の紹介に取り組みました。今後も、地域みなさまと対話を深めながら、研究成果をわかりやすく伝える活動を続けてまいります。

筆者 ときわ たつひこ 常盤 達彦

④ 国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第119回

戦中における国防のための婦人会

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎ (52) 2165

満州事変が起こった昭和6年（1931）の翌年、陸軍の指導・援助のもと大阪で主婦たちによって設立された国防婦人会を母体として「大日本国防婦人会」が発足し、以降全国に拡大していきました。

西川村外二ヶ村組合（後の宮下村）においては、「大日本国防婦人会宮下分会」として昭和12年（1937）に設立されました。役場日誌を読めば、8月10日に宮下小学校において国防婦人会結成の発起人会が開催されていることがわかります。

その会則を読むと「日本婦人トシテノ護國ノ大義ヲ実践履行シテ國防上銃後ノカトナル」を目的とするなど、軍国的な性格が色濃く、その理念や行すべきとされる事業も銃後を守る女子の心得・行動のようなものが多く見受けられます。雑則に「会員ハ白色割烹衣^{かつぽう}ヲ着用シ（大日本国防婦人会）ト記入シタル白色肩章^{かたばな}ヲ掛クル」とあり、会員となる婦人の格好が会則によって定められていたことがわかります。

西方村長であった山内政記氏の日記には、昭和12年8月25日に国防婦人会第一回開催の記述があり、また、大石田・川島光政家に「昭和拾二年旧七月 大日本国防婦人会発会式記念」という記載とともに写真が遺^{のこ}されていたことから、西方村でも同時期に設立されたと推察されます。写真をよく見れば、多くの女性が「大日

本国防婦人会」と書かれた白いたすきをしています。これが会則にある「大日本国防婦人会」ト記入シタル白色肩章」なのかもしれません。そのほか、山内政記氏の日記には、昭和17年（1942）8月31日に学校において日本婦人会西方支部の結成式並総会が開催されたと書かれています。これは同年2月に国防婦人会と愛国婦人会、そして大日本連合婦人会が統合され、大日本婦人会が発会したことが関連があり、西方村においても国防婦人会が大日本婦人会に統合されたことを受け、あらためて大日本婦人会西方支部として結成式を行ったと推察されます。宮下村では同年10月1日に国民学校において大日本婦人会宮下支部の結成式が行われています。

昭和20年（1945）になると、政府が大政翼賛会を解散、国民義勇隊を設立することを決定します。大政翼賛会の下部組織として位置づけられていた大日本婦人会も解散が決まり、宮下村では6月3日午前6時、宮下村国民義勇隊結成式が挙行され、同日午後1時に大日本婦人会宮下支部は解散となりました。なお大沼郡国民義勇隊の結成式は同月27日に高田町で行われ、村長が出張しています。

（町史編さん室）



▲ 昭和12年旧7月 大日本国防婦人会発会式記念（大石田 川島光政氏提供）

愛ばんしょ外来からのお知らせ

在宅医療とは
奥会津在宅医療センター
在宅医療とは、体の具合や病気で病院に通うのが困難な方のご自宅に、医師や看護師が訪問して診察や治療をする医療のことです。お薬の処方、点滴や検査をしたりさらには最期までご自宅で過ごしたい方の医療やケアを受けることができます。住み慣れたご自宅で安心して暮らせるように、切れ目のない医療を提供する仕組みです。宮下病院へお気軽にご相談ください。
☎福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました（10月分）

ふるさと納税

馬場幸枝様（東京都）
長門好江様（広島県）
小久保一夫様（千葉県）
東条一樹様（東京都）
寄附件数 26 件 計 407,000 円

12月分納税のご案内

【納期限 12月25日(木)】

- ▼ 固定資産税 (第3期)
- ▼ 国民健康保険税 (第5期)
- ▼ 介護保険料 (普通徴収) (第5期)
- ▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第5期)

忘れずに納付してください。
☎町民課 町民係 ☎ (48) 5555

🌸 お悔み申し上げます

坂内澄男様 (88才・西方)
目黒せつ子様 (99才・滝谷)
小堀忠示様 (95才・西方)

町の人口と世帯（11月1日現在）

人口	1,295	増減数	0	出生	0
男	657		0	死亡	2
女	638		0	転入	5
世帯	667		1	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン	滝谷和楽塾
12月8日(月) 午前10時から 大石田集会所	12月16日(火) 午前10時から 滝谷集会所
大登サロン	ほがらかサロン
12月8日(月) 正午から 大登生活改善センター	12月18日(木) 午前10時から 森の校舎カタクリ
松原はつつクラブ	高清水・小山 いきいきサロン
12月9日(火) 午前10時から 松原集会所	12月19日(金) 午前10時から 高清水集会所
サロンなごみ	間方いきいきクラブ
12月11日(木) 午前10時から 西方ふるさとセンター	12月19日(金) 午前10時から 間方集会所
川井友愛サロン	サロンないり
12月12日(金) 午前10時から 川井集会所	12月22日(月) 午前10時から 名入集会所
ひまわりサロン	浅岐あったかサロン
12月15日(月) 午前10時から 町民センター	12月23日(火) 午前10時から 浅岐集会所

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

坂内康明様 (西方)
目黒常廣様 (滝谷)
小堀庄太郎様 (西方)


町社会福祉協議会へのご寄附
(一般のご寄附)

会津ヤクルト販売 (株)

☎社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島通信で健康教室を放送中です。
12月「低温やけどについて」です。
ぜひご覧ください。
☎福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321



消防署からのお知らせ

年末年始特別警戒 12月15日～1月15日

年末年始は、慌ただしさから火の取り扱いが疎かになりがちです。お出かけ前やお休み前には火の元に十分注意し、火災のない年末年始を過ごしましょう。
また、除雪作業時の事故も起きやすい時期です。除雪をする際は、家族や近所にその旨を伝えてから作業を行ってください。
万が一のことがあった場合にすぐ連絡できるよう、携帯電話を持って作業しましょう。

～災害情報等案内サービスの電話番号が変わります！～

常日頃ご利用いただいている【災害情報等案内サービス(機械音声による出動中の火災情報や休日当番医のお知らせ電話)】の電話番号が変わります。

(旧) 0242-93-6119
(令和8年3月9日～) 050-5536-5054

<消防水利の除雪のご協力ありがとうございます>

町民の皆様には、日頃より自宅近くの消火栓や防火水槽の除雪にご協力いただき、心より感謝申し上げます。
消火栓や防火水槽は、火災時に重要な水源となりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。
また、付近への雪寄せや盛り上げ、駐車等は行わないようご協力ください。





☎会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

【年末調整手続きの電子化】
電子化について解説。年調ソフトも無償提供。

【源泉所得税のキャッシュレス納付】
納付税額0円の納付書もe-Tax提出で事務効率を向上。

【源泉徴収票等のオンライン提出】
オンライン提出で、確定申告書にマイナ連携（自動入力）。

【マイナンバーカードの有効期限】
有効期限を過ぎると、健康保険証等としても使用不可に。



会津坂下警察署からのお知らせ

年末年始における事件事故防止活動

令和7年12月10日(水)から令和8年1月7日(木)まで

年末年始は、帰省などにより、人の動きが活発になります。
例年、この時期は、各種犯罪の発生が懸念されます。
期間中、県警察では関係機関・団体と一体となった事件事故防止活動を推進しますので、皆さんも被害に遭わないための各種対策の強化をお願いします。

なりすまし詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止！

※下記に基づき対応ねがいます。
・国際電話の利用休止の申し込み
・迷惑防止機能を有する機器を導入
・番号日通知の電話は着信拒否設定
・留守番電話に設定し、相手を確認してから対応を

金融機関、コンビニ等を対象とした犯罪被害防止！

※下記に基づき対応ねがいます。
【店舗側】
・強盗対応訓練を定期的に実施し、自主防犯意識を高める
・防犯体制を再確認する
【住民側】
・不審な人や車を見かけた時は、通報をお願いします

大切な家族を事件・事故から守るため、「家族の絆」を深めましょう。

☎会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451


年末の納税について

国税局では、年末調整や事業者のデジタル化に関する様々な情報を発信しております。
下記にアクセスし、年末の納税手続きにご活用ください。

☎会津若松税務署法人課税第一部門 ☎ 0242 (27) 4311
※音声案内で2番を選択して下さい。

【年末調整特設ページ】

令和7年の年末調整における変更点等を解説。



ツキノワグマ出没警報発令中



区域：会津・中通り地域

期間：令和7年9月11日～12月15日

今年はクマの目撃件数が過去最多となっています。

ブナ等の堅果類が不作であり、冬眠前のクマがエサを求めて人里近くまで出没する可能性が高く、山や河川敷でのクマとの遭遇リスクが高まる時期のため、クマが出没している地域では複数人で行動する、必ずクマ鈴を携帯するなどクマに遭わないよう十分注意してください。

問 産業建設課 ☎ (48)5566

**クマとの遭遇
多発ポイント**

登山や仕事での入山

キノコ採り

河川敷

林縁部や藪付近

納屋・畜舎

果樹周辺

農作業・草刈り

朝夕の散歩

クマに出会わないためにできること

1 目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかわかることが大切です。県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。

クマの目撃マップはこちら↓



福島県ホームページ

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。

各地方振興局でクマ鈴を貸出します

3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

お知らせとお詫び

前回、11月号の町長日記において、「能面師世阿弥」という記載がありましたが、正しくは、「世阿弥」となります。

お詫び申し上げます。

問 地域政策課 地域政策係 ☎ (48)5533